

情 報 公 開 文 書

研究の名称	食道 EMR における切除困難を予測する因子
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者 (所属・氏名)	富山大学附属病院 光学診療部 准教授 藤浪斗
研究の概要	【研究対象者】 2006 年 11 月 1 日から 2023 年 6 月 30 日の期間に当院で表在型食道癌に対する内視鏡的粘膜切除術を施行した方 【研究の目的・意義】 食道 Endoscopic Submucosal Dissection(ESD)の手技は確立されているが、小型の腫瘍の場合、簡便な食道 EMR が選択されていますが、ESD と比べて分割切除の割合が高いことが臨床で問題となっています。食道 EMR における切除困難を予測する因子を検討することを目的としました。食道 EMR 手技の一括切除困難因子を検討し、切除困難因子を明らかにすることで患者さんへの治療方針決定に役立てることができると考えられます。 【研究の方法】 診療録の情報から後方視的に治療成績について検討します。 【研究期間】 実施許可日 ~ 2024 年 12 月 31 日 【研究結果の公表の方法】 結果の如何に関わらず、研究成果は公表し、学会発表および英文誌への論文投稿を行います。この際に個人のプライバシー保護には十分な注意を払って、個人の特定につながる情報は公表しません。
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法 (他機関への提供の有無)	電子診療録より以下の情報を使用します。 年齢、性別、抗血栓薬、病変の局在 (長・短軸)、術前腫瘍径、肉眼型、術前深達度、術前周在性、生検による組織型、放射線化学療法など術前治療の有無、背景粘膜、同時性食道癌の有無 本研究では他機関への資料提供は行いません。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者 (研究主機関における研究責任者氏名)	富山大学附属病院 光学診療部 准教授 藤浪斗
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	研究対象者からの除外 (試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む) を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。 電話 076-434-7301 FAX 076-434-5027 E-mail sshimada@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 第三内科 島田清太郎